

	理工学部化学・物質学科
DP	<p>化学・物質学科は、本学立学の精神を礎として、次の資質・能力を身に着けた学生に学士(工学)の学位を授与します。</p> <p>①社会の責任ある形成者として必要な教養と、英語を含むコミュニケーション力を有する。</p> <p>②さまざまな材料について、原子・分子のレベルでその性質を解明し、材料としてその機能性を高め、新たな材料設計を行うための化学や物理学の知識と、それらを活用して、社会での問題を発見し、解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を有する。</p> <p>③主体的に学び続け、学んだことを分かち合い、多様な人々と協力して、化学・物質学科が重視する理工系の科学・技術を用いて社会貢献する意欲を有する。</p>
CP	<p>化学・物質学科は、学位授与方針に示す資質・能力を学生に身に着けさせるため、次のような教育課程を編成し、教育します。</p> <p>①教養教育課程では、人文・社会科学、語学、体育等からなる教養教育科目の履修を通して、多様な価値観に触れ、社会の責任ある形成者として必要な教養と、英語を含むコミュニケーション力を身につける。</p> <p>②専門教育課程では、数学、物理学、化学、技術者倫理等の理工学基礎科目と、学科配当の開講科目である物理化学、有機化学、無機化学、量子力学、材料力学等からなる専門科目によって編成される専門教育部門の講義科目の履修を通して、化学や物理学の専門知識と、それらを活用して、社会での問題を発見し、解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につける。</p> <p>③演習・実験・実習における少人数でのグループワーク、集団討論や卒業研究での担当教員との討論、プレゼンテーション、さらにキャリア教育での多様な活動等を通して、生涯にわたって主体的に学び、学んだことを分かち合い、多様な人々と協力して、化学・物質学科が重視する理工系の科学・技術を用いて社会貢献する意欲を身につける。</p> <p>④シラバスに示す厳格な成績評価と単位認定を行うとともに、GPA や修得単位数にもとづく個別指導を行うことにより、個々の学生の達成度と将来計画に応じた学修を進めることができるようにする。</p>
AP	<p>化学・物質学科の卒業認定に関する方針を理解し、高等学校等での学習を通して、次のような資質・能力を身につけている人を受け入れます。</p> <p>①一般選抜では、数学、理科および英語の高い基礎学力を有する。学校推薦型選抜・特別入学試験では、高等学校教育の内容を堅実に修得し、数学、理科および英語の基礎学力を有する。</p> <p>②数学、理科および英語の基礎学力を活用して、自ら問題を発見しその解決に向けて探究し、成果等を表現するための基本となる思考力・判断力・表現力等を有する。</p> <p>③化学・物質学科が重視する理工系の科学・技術に興味を持ち、主体性を持って多様な人々と協力して、理工系の科学・技術を用いて社会貢献する意欲を有する。</p>